

【教育指導】中学校では自然災害による傷害防止学習が行われ、小・中学校全校では都教委作成の副読本を活用した指導や家庭への啓発を行っている。今後、地域と連携した防災訓練の実施

等、各学校の計画・実施について指導・助言していく。
また、保護者用の防災意識向上に関する資料を10月に作成・配布し、家庭や地域と協力しながら防災教育を進めていく。

放射線対策を充実し 安心な「ふるさと足立」を



公明党

岡安 たかし 議員

放射線測定機の拡充を図れ

【問】学校や幼稚園・保育所、また公民問わず施設の管理者等に測定器を貸し出して測定・報告してもらい、必要あれば除染等の措置を講じてはどうか。

【危機管理】測定器が現状で2

台であり、毎日定点観測を行っていることから、貸し出しを行っている状況ではないが、この度放射線量を測定した各施設については、日常的な施設管理の中で除草や清掃を実施していく。今後も区としてできる限りの対応を行うとともに、専門家や区民との協働や、除染に関する広報についても検討していく。



放射線への理解を深めるために

【問】今後は放射線に関する講

な意見に分かれており、講師の選定が非常に困難な状況にある。しかし、専門家の話を聞きたいとの区民からの声もあるため、講演会等の開催や映像の配信については、今後、検討していく。

発達障がい者への長期的支援を

【問】我が党は(仮称)発達障がい者支援センターの設置をかねてから要望してきた。現況と今後の整備スケジュールを伺う。

【福祉】発達障がい児について

は平成20年から早期発見等に取り組み、支援体制が整いつつある。発達障がい者についてもモデル的な事業の実施に着手し研究を進めており、発達障がい児者への一生涯を通じた支援の仕組みを構築しつつある。これらを踏まえ、当区の発達障がい者の支援センターの設置については、専門家の間でも様々も早急に検討していく。

日本共産党足立区議団

自然エネルギー、放射能、認可保育園、区民要望の強い施策の重視を!

区民ニーズを反映させた行政を



日本共産党

ぬかが 和子 議員

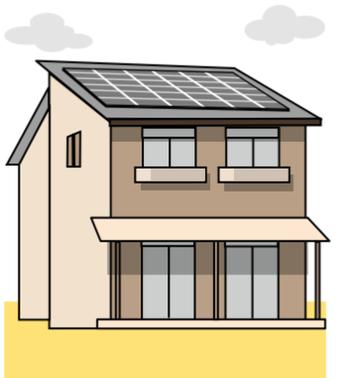
区民ニーズを反映させた行政を

【問】大震災と原発事故を経て、行政のあり方も大きく舵を切ることが求められるが、区の来年度行政運営方針は昨年とほとんど変わらない。区民要望の強い施策を重点とし、「いのち・くらし」を守ることを最優先に

切り替えるべきではないか。

【区長】高齢者福祉、子育て支援、孤独死対策等は、新年度方針に改めて書き加えるまでもなく、重点を入れて取り組んできた課題であると認識している。

【問】区は自然エネルギーへの転換に向けた取り組みを直ちに行え



【問】太陽光や風力を活用し、「区内で電気を作る」「発電所を設置する」仕組みづくりに着手してはどうか。

また、LED照明設置補助だけでなく、他の省エネ・自然エネルギー化を図った場合もインセンティブを設けてはどうか。

【環境】太陽光発電システム設置補助を、環境基本計画の目標値を基本に取り組んでいく

また、補助制度全体の見直しにより、制度設計を行っていく。親の気持ちに応えた保育行政を

【問】区は、より良い環境の整った認可保育園を求める保護者の気持ちにかなわないのか。

【教育長】認可保育園は、大規模開発地域等、特定地域に全年齢に渡り相当多数の待機児童が見込まれる場合に整備していく。弱者にやさしい防災計画を

【問】①弱者の視点で防災計画等を見直し・構築してはどうか。②応急給水槽のない地域への早急な設置を計画に位置づけよ。③「聞こえにくい」防災行政無線のみに頼らない伝達方法として、コミュニティFMやアマチュア無線を活用してはどうか。

【危機管理】①災害予防や減災事業の中で、災害時要援護者支援等の対策を引き続き実施する。②見通しがつき次第、計画にのせていくことを考えている。

③コミュニティFM放送の活用は検討していくが、アマチュア無線の活用は運用面の課題があり、活用は難しいと考える。

放射線対策を充実させよ

【問】①我が党による独自の放射線測定で区の指標値を超えた19箇所等、わかったところから直ちに対策を講じよ。

②希望する住民に放射線測定器を貸し出してはどうか。

千寿第五小の統廃合計画撤回と介護保険料値上げストップを



日本共産党

浅子 けい子 議員

住民無視の千寿第五小学校統廃合計画を許さない

【問】同校の開かれた学校づくり協議会は、統廃合ありきの説明には応じられないと、区教委に会うことすら拒否している。

また、同小PTAが全児童241世帯に行ったアンケートによると、統廃合反対が90%と圧倒的である。

【問】区教委は、こんなに多くの反対を押し切ってまで統廃合を進めるのか。無理な学校統廃合を抑制する文部省通達(昭和48年)に反してまでも進めるのか。

【学校教育】小・中学校の統合は、将来の教育環境を考える上で非常に重要な事業であり、今後も区全域で進めていくべき課題と考える。

【問】介護保険料の値上げは認めない

【問】来年4月からの介護保険料について、区の専門部会では

③食の不安改善のため、チェック体制の確立等を都に求めよ。

【危機管理】①現在は、区の指標値を超えた施設での対処を順次実施しているところである。

②2台保有しているが、毎日定点測定を行っているが、現在、貸し出しを行っている状況にはない

【衛生】③厚生労働省において具体的な動きがあれば、都と連携し、迅速に対応していく。

65歳以上は月1千260円の値上げになると試算したが、これは到底認められない。保険料は今でも負担が重く、さらなる値上げはやめるべきだがどうか。

また、減らされた公費負担の復活を求めるとともに、それが無理であれば区が支えてでも値上げを抑えるべきだがどうか。

【福祉】制度運営上、保険料の上昇は止むを得ないと考える。

また、すでに区は保険給付費の12.5%の公費を支出しており、これ以上の負担は考えていない。

足立区議会民主党

節電と防犯の両立を



民主党

長谷川 たかこ 議員

節電も重要だが、防犯面から公園等の夜間照明の点灯を

【問】節電のために公園灯を消灯したが、必要なのは過度な節電でなく、電力のピークカットである。消灯により、園内でも暗い場所が多く危険である。防犯面から、改めて検討を行った

上で点灯すべきではないか。

【みどり】防犯・安全に配慮した上で、公園灯等を順次点灯していく。

【問】女性の視点も積極的に区政に取り入れるべきである

【問】女性の視点の重要性は震災でも明らかとなった。区民の

